



2018 / July

7

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31	1	2	3	4

6
S M T W T F S
1 2
3 4 5 6 7 8 9
10 11 12 13 14 15 16
17 18 19 20 21 22 23
24 25 26 27 28 29 30

8
S M T W T F S
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

2014年活断層フォトコンテスト作品 入賞:「2007年7月16日中越沖地震」 渡辺満久・東京都 新潟県柏崎市宮川

作品説明:2007年7月16日に発生した新潟県中越沖地震(マグニチュード6.8)は、柏崎周辺の海岸部を数cm~10cm隆起させた。本写真は、柏崎市宮川高浜海水浴場における、地震直後の砂浜海岸の様子である。地震時に隆起があったため、バームがその後の波蝕を受けて、比高15cm程度の低地が形成されていた。

2018 / August

8

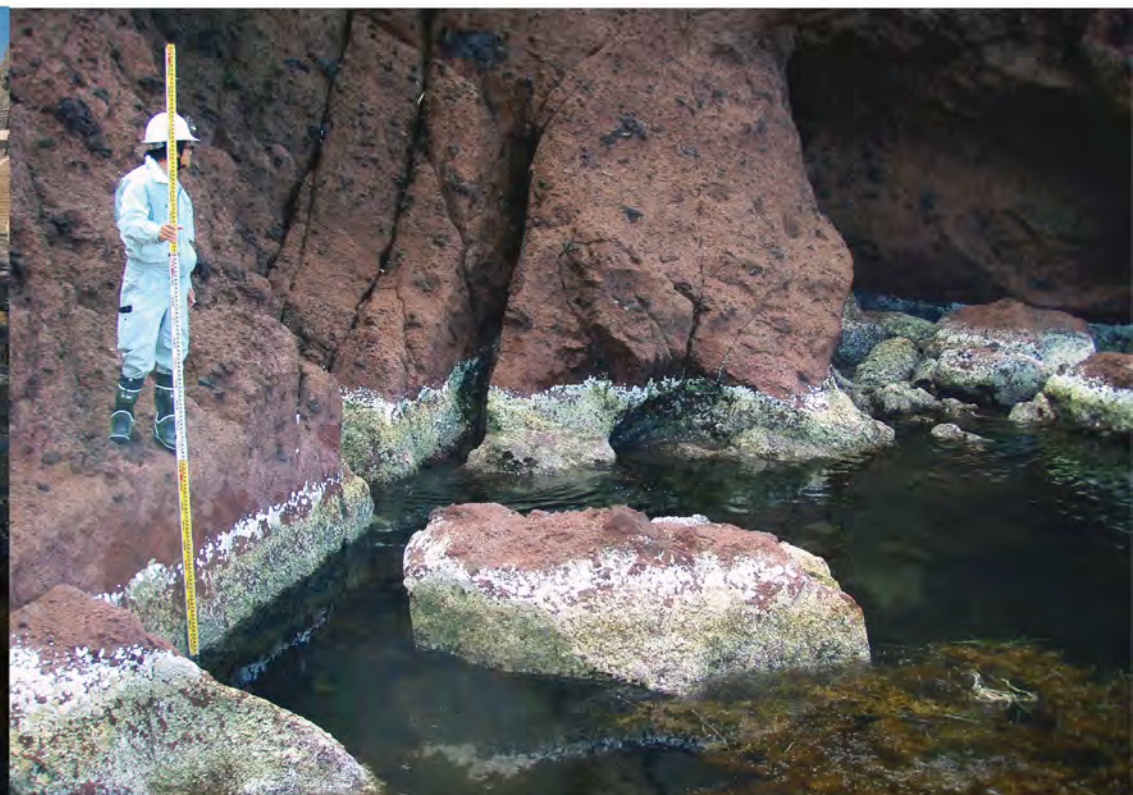
SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	1

7
S M T W T F S
1 2 3 4 5 6 7
8 9 10 11 12 13 14
15 16 17 18 19 20 21
22 23 24 25 26 27 28
29 30 31

9
S M T W T F S
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30

2014年活断層フォトコンテスト作品 特別賞:「北武断層帯」 蟹江康光・神奈川県 三浦半島断層群北武断層帯 横須賀市野比海岸沖上空

作品説明:三浦半島には、西北西-東南東方向に伸びる複数の活断層帯があり、それらはまとめて三浦半島断層帯と呼ばれている。北武断層は、その一帯北側にあり、撮影範囲はその東端部分で、丘陵と台地の比較的地形境界をつくっていることが読み取れる。また、その活動度はA級であることが解明されている。三浦半島の空撮は、2006年より、NPO 法人「PPG 湘南平塚」と三浦半島活断層調査会とが協力して実施してきた。



2018 / September

9

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30						

8
S M T W T F S
1 2 3 4
5 6 7 8 9 10 11
12 13 14 15 16 17 18
19 20 21 22 23 24 25
26 27 28 29 30 31

10
S M T W T F S
1 2 3 4 5 6
7 8 9 10 11 12 13
14 15 16 17 18 19 20
21 22 23 24 25 26 27
28 29 30 31

2014年活断層フォトコンテスト作品 優秀賞:「1923年9月1日の隆起」 渡辺満久・東京都 神奈川県鎌倉市江の島

作品説明:神奈川県江の島の海岸である。本地域では、1923年の関東地震の時に地震性隆起によって海水ベンチが形成されたと言われている。ただし、現在でも波をかぶる高度にあるので、「歴史記録」がないと「海水ベンチ」であることに反対する研究者がいたかもしれない。なお、最近では、1923年以前に「海水ベンチ」という見解も表明されているようである(松田時彦先生、私信)。

2018 / October

10

SUN	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
30	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31	1	2	3

9
S M T W T F S
1
2 3 4 5 6 7 8
9 10 11 12 13 14 15
16 17 18 19 20 21 22
23 24 25 26 27 28 29
30

11
S M T W T F S
1 2 3
4 5 6 7 8 9 10
11 12 13 14 15 16 17
18 19 20 21 22 23 24
25 26 27 28 29 30

2014年活断層フォトコンテスト作品 入賞:「Mw6.7でもこんなにハッキリと隆起!」2007年能登半島地震によって隆起した海岸 穴倉正展・茨城県 石川県輪島市門前町

作品説明:2007年能登半島地震は、局所的に被害をもたらしたものの、気象庁マグニチュードでM6.9、モーメントマグニチュードでMw6.7と中規模に分類される地震であった。規模は中程度であっても、震源断層が陸域から海域にかけて延びていたことから、目に見える形で海岸の隆起を伴った。本作品は輪島市門前町の赤神海岸において観察された隆起の様子である。岩礁には、地震前まで平均海面付近を上限として固着していた石灰藻が、隆起によって離水し、赤茶けた基盤岩と明瞭なコントラストをなしている。スタッフの目撃からも読み取れるように、およそ50cmの隆起が生じたことが分かる(ほば中等位時に撮影)。なお、本作品に関連する論文として、Shishikura et al. (2008, GRJ)がある。(地震発生日:平成19(2007)年3月25日)